

妙法寺だより

今を生きる智恵と勇気ともに学び歩むお寺

VOL.258

冬号

12

2024 WINTER
季刊誌2024年12月発行



- 大祈祷会 大晦日のご案内
- 来年の年回忌法要
- 日蓮聖人御真筆修復完成奉告式 ご報告
- 住職のcoffee Time
- 新しい墓地区画を増設中

正月特別奉安 開運大毘沙門天

だい

き

とら

え

大祈禱会



令和7年1月5日 (日)

午後1時

新春お笑いライブ
芸人さんの福引き大会

午後2時

大祈禱会

祈禱会終了後

車両祈禱

檀家さんだけではなく
どなたでもご参加いただけます
皆さまお誘い合わせのうえ
ご参列ください

午後1時 新春お笑いライブ

お笑い大好きな住職が新年の福笑いを皆さまにお届け！

世界公認バールンアーティストの異名を持つ漫才コンビ。アップテンポなトークに乗せて世界レベルのバールンアートを笑いと共にお届けします！



蓮華

レギュラー

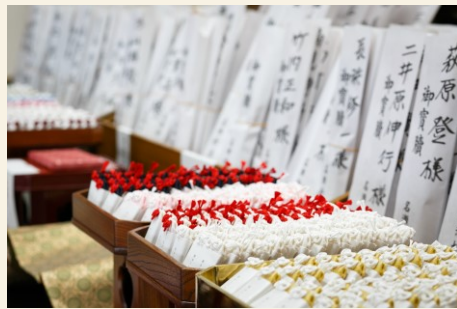
あるある探検隊の實力派漫才コンビ。介護レクイメントに出演するなど、介護の橋渡し役としても活躍中！

午後2時 大祈祷会

当日授与をいたします祈願札のお申込は次のページをご参照いただきお申込ください



ひとり一人の法華経をお当てします



お申込いただきました多くの祈願札



祈祷会後には裏墓地での車両祈祷



大荒行堂の修行を修了した修法師

大祈祷会では、日蓮宗の大荒行堂で修行された修法師を多数お迎えし、日蓮宗古来より伝わる、加持祈祷によって、お申込いただきました「祈願札・御守」に入魂祈祷を行うと共に、おひとりお一人にご祈祷を行い、一年間の安泰をご祈願します。また車両の祈祷も墓地駐車場で執り行います。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご家族揃ってご参拝ください。

祈願内容一覧

- A 家内安全 家族が円満に過ごせますように
- B 身体健全 健康で過ごせますように
- C 交通安全 交通の災難に遭いませんように
- D 當病平癒 病が治りますように
- E 商売繁盛 商売が繁盛しますように
- F 事業繁栄 事業が栄え成功しますように
- G 社運隆昌 会社が栄えますように
- H 学徳増進 勉強ができますように
- I 合格成就 志望校に合格できますように
- J 発育増進 お子様が無事に育ちますように
- K 心願成就 心に秘めた願いが叶いますように
- L 除厄開運 厄を除き幸運に恵まれますように
厄年に当たられている方の厄除け
- M 夫婦円満 夫婦が仲良く過ごせますように
- N 安楽産福子 元気な子供が産まれますように
- O 寿命長遠 元気に長生きできますように




車両祈願

お申込は年内に
◀申込フォーム▶




一般祈願

女性
 数え19歳
 前厄 平成20年生
 本厄 平成19年生
 後厄 平成18年生

数え33歳
 前厄 平成6年生
 本厄 平成5年生
 後厄 平成4年生

数え37歳
 前厄 平成2年生
 本厄 平成元年生
 後厄 昭和63年生

数え61歳
 前厄 昭和41年生
 本厄 昭和40年生
 後厄 昭和39年生

令和七年
厄年

男性
 数え25歳
 前厄 平成14年生
 本厄 平成13年生
 後厄 平成12年生

数え42歳
 前厄 昭和60年生
 本厄 昭和59年生
 後厄 昭和58年生

数え61歳
 前厄 昭和41年生
 本厄 昭和40年生
 後厄 昭和39年生



特別祈願：15,000円 (大きな御札)

一般祈願：3,000円

車両守札：3,000円

(同申込者は2台目以降は1台につき2,000円)

古い御札 正月飾り



お焚き上げ



昨年の古い御札、正月飾りのお焚き上げ供養は、受付に専用箱を準備いたしましたので、お入れください。燃えないものは、お焚き上げできないため、外してお持ちください。

生花の販売

12月30日～1月5日



年末のお墓参りでは、ご先祖様に一年間の無事への感謝を伝え、年頭には今年一年の安泰を祈りお参りしましょう。

1対1, 500円 (お線香付)
1束 750円



お台所にお祀りいたします「普賢三宝荒神」様の御札は、12月30日～1月5日まで、ご用意しております。1体1000円



妙法寺特製御守 祈るこころ



大好評をいただいております、妙法寺の特製御守は、年末年始や大祈祷会にて授与しております。

初詣

妙法寺ではお正月の三箇日、初詣の皆さまのお越しをお待ちしております。本堂正面には開運の神様である「大毘沙門天王」を特別奉安し、「妙法寺特製 御守」や「おみくじ」なども授与しております。



大晦日 除夜の鐘

午後十一時

歳末報恩法要

本堂

午後十一時半

除夜の鐘開始

鐘堂

午前零時

新年祝禱会

本堂

午前零時半

除夜の鐘終了

鐘堂



令和七年年回忌表

百	五十	四十七	四十三	三十七	三十三	二十七	二十三	十七	十三	七	三	一
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	周
忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌	忌
昭	昭	昭	昭	平	平	平	平	平	平	令	令	令
和	和	和	和	成	成	成	成	成	成	和	和	和
元	元	元	元	元	元	十	十	二十	二十	元	元	六
年	年	年	年	年	年	一	一	一	五	年	年	年
						年	五	五	五	年	年	年

令和元年（平成31年） 平成元年（昭和64年） 昭和元年（大正15年）

年回忌法要のご案内

令和七年に年回忌にあたる方にお

知らせを同封いたしております。

ご確認ください。希に古い字などで誤植がある場合がございます。

その際には、お手数乍らお知らせいただきますようお願い申し上げます。

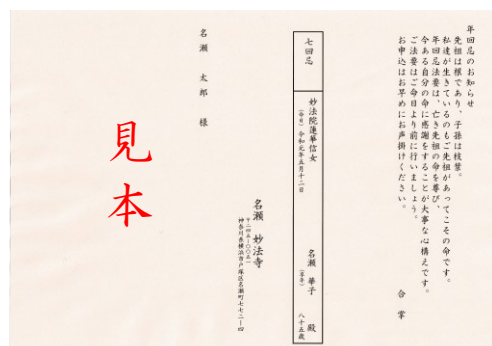
▼ご法要は御命日より前に行うのが一般的です。

▼お申込はお早めをお願いいたします。

どうぶつ供養塔



私たちと共に暮らす、どうぶつ達は家族の一員。家族の心を豊かにしてくれたどうぶつ達を妙法寺では、末永く供養して参ります。



見本

日蓮聖人ご生誕八〇〇年慶讃記念事業

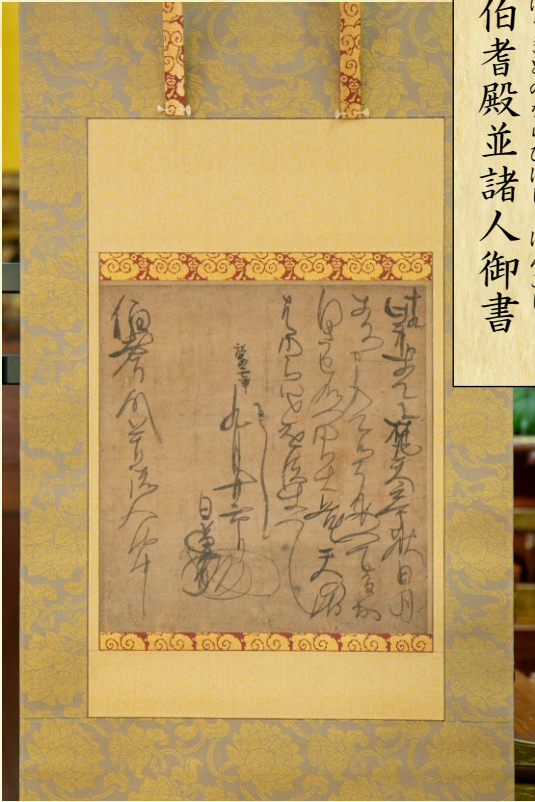
日蓮聖人御真筆修復完成奉告式

さじきにようほうごへんじ
棧敷女房御返事



弘安五年（1281年）筆
日蓮聖人が身延山に隠棲されていた
60歳の時に鎌倉の棧敷女房という
女性に宛てられた書状

ほうきどのならびにしよにんごしよ
伯耆殿並諸人御書



弘安二年（1279年）筆
日蓮聖人が58歳の時に弟子の
日興上人に宛てられた書状

ほんもんだいほうごしよ
本門大法御書



健治2年（1254年）筆
日蓮聖人55歳の時、法華経の
お釈迦様について書かれた論文



法要前の練り行列



修復を担当いただきました
半田九清堂 技師長 佐伯勇成 様

修復のアドバイスをいただきました
立正大学名誉教授 中尾堯 先生



御真筆を調査していただきました
立正大学教授 原慎定 先生



檀信徒を代表しての謝辞
妙法寺筆頭総代 金子幸一 様



今回の記念事業に合わせて
特別にデザインされた記念品

令和六年十一月三日（文化の日）午後二時より「日蓮聖人ご生誕八〇〇年慶讃記念事業 日蓮聖人御真筆修復完成奉告式」が営われました。

当初は雨の予報ではありましたが当日は晴天に恵まれ、ご寄付を賜りました来賓の方々約一二〇名の皆様にご参列をいただきました。今回の特別な法要には、法要のエキスパートである日蓮宗声明師の皆様にご出仕をいただき、今までの妙法寺では行われてこなかった特別な声明、そして雅楽僧による優美な雅楽の調べにより記念すべき厳かな法要を執り行うことができました。

修復を担当してくださった半田九清堂様からは「今回の修理で一千年先まで大丈夫です」とのお言葉をいただきました。この修復事業を通じて、浄財を寄進してくださった方をはじめ、携わってくださったすべての人たちが、会うこともできない一千年先の遠い未来の人たちにとって信仰の歴史をつなぐ一人になったのではないかと感じております。

住職の



Coffee Time



「今」を一步前へ

それが過去と未来にも及ぶ

先日、いつも色々な情報や法話のヒントを提供してくれるスタッフの安田さんが「とても良い記事があったので」と、SNSで見つけられた記事をシェアしてくれました。それは女優の小泉今日子さんのインタビュー記事でありました。キョンキョンの愛称で知られる小泉今日子さん。私もアイドル時代からのファンでありまして、名曲の「木枯らしに抱かれて」をよく中学時代に聞いたり、ドラマなどもよく見ておりました。この記事は、小泉今日子さんが16歳でアイドルデビューして以来、現在に至るまでのご生涯を振り返るなかで語られたもので、素晴らしい考え方であると共に、仏教の教えにも通じると感じましたので、ぜひ皆さんにもお伝えしたいと思い、今回のCoffee Timeの記事としてご紹介させていただきます。

小泉今日子さんは記事のなかで次のように語られています。

「16歳の私が頑張ったから今の私がある。逆もアリで今58歳の私が頑張ったら16歳の私も報われるし、70歳の私にも感謝されると思うんです。今の私が一步前に出ると、過去の私も未来の私も一步前に出る。時間はタテだけではなく、ヨコにも広がっていると思っています…」

短い文章ではありますが、この文章にスゴく感銘を受けました。そして何より三世（過去・現在・未来）を説く仏教の考え方にも通じ、「今」という時間と場所を大事にされた日蓮聖人の教えにも通じると感じました。

日蓮聖人は「今」という時代を大事にされました。鎌倉時代、当時は亡くなった後に極楽浄土を目指す「南無阿弥陀仏」のお念仏信仰が盛んに行われておりました。しかし、日蓮聖人は亡くなった後の来世の成仏ではなく、今を一生懸命に生きること、この世界でイキイキと生きることがこそが仏教の教えである。「今」を懸命に生きることが過去にも、そして来世にも及ぶのだと教えられました。日蓮聖人の教えを小泉今日子さんのインタビュー記事を通じて深めることができたように感じます。私自身に置き換えますと、私が今、一歩踏み出すことによって、中学を卒業してすぐに身延山に修行に出され、毎日泣きながら修行していた時代の自分も報われるし、今後、歳を重ね最期を迎える時も今の自分に感謝するのだと感じ、今の自分から一歩前へ進む勇気をいただきました。

皆様も「今」という時間と場所を大事にしましょう。そして今をイキイキと生きること、過去も未来も変わっていくのだと深く刻んでいただきたいと思います。

最後に日蓮聖人の言葉の一節をご紹介します。

過去の因を知らんと欲せば

現在の果を見よ

未来の果を知らんと欲せば

現在の因を見よ

作務行日記

妙法寺の西側にある急斜面は、横浜市より「土砂災害特別警戒区域」に指定されています。この道路は毎日数百人も小学生が通る通学路であり、近年の地震や豪雨などで崩壊や土砂崩れを起こす可能性もあることから、安全対策の擁壁工事が急務となっております。今回の寄付事業の余剰金で通学路の安全を守るための擁壁工事費用として活用させていただきます。先日、その測量をするために崖の草刈りと樹木伐採作業が必要となり、見積もりを取ったところ、かなりの高額！みなさまからのご寄付を無駄に出来ない！少しでも経費削減のため、登山用のロープを購入し、私たちが伐採作業にトライしてみました。



上の写真、わからないと思いますが住職です。今回はスタッフの牧野さんと共に完全防備で挑みました。

新しい墓地区画を増設中

妙法寺では、新しい墓地区画の造成を進めております。
多くの方々から様々なご相談を受けるなかで、現代の人々に
あったお墓づくりができないかと考えて参りました。

このようなご相談をうけてきました



亡くなった両親・両
祖父母を守っていき
たいが、私も嫁いで
おり後継者がいない
のでこの先が不安。



地方にある実家を墓
じまいして、私たち
が住んでいる横浜に
お墓を移転したい。



後継者がいないから
市営霊園の合同墓地
に見学に行ったけど、
なんだかしっくりこ
ない。

来年6月頃にオープン予定の新区画では

使用期間を
自由に
選べます

墓地の使用期間を自
由に設定することが
でき、長く維持しな
くても大丈夫

後継者が
不在でも
安心して

後継者が不在になっ
た場合は、妙法寺が
責任をもって永代供
養をいたします。

お墓につい
ての不安は
お任せを

使用料のなかに墓地
の閉眼・解体費用が
含まれています。
もしもの時は妙法寺
にお任せください



新しい墓地のイメージ図